

2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月14日

上場会社名 りらいあコミュニケーションズ株式会社
 コード番号 4708 URL <https://www.relia-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網野 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岩本 健一郎
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5351-7200

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	85,038	5.0	3,376	1.5	3,445	1.0	1,904	17.4
2018年3月期第3四半期	80,994	17.3	3,428	6.2	3,479	7.8	2,305	5.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,662百万円 (11.4%) 2018年3月期第3四半期 1,491百万円 (21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	27.64	
2018年3月期第3四半期	33.45	

(参考) のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2019年3月期第3四半期 3,174百万円 (12.0%) 2018年3月期第3四半期 3,604百万円 (64.2%)

調整後EPS 2019年3月期第3四半期 46.05円 2018年3月期第3四半期 52.31円

(注) 調整後EPS: のれん償却前当期純利益 / (期末発行済株式数 - 期末自己株式数)

四半期においては、「当期」を「四半期」、「期末」を「四半期末」に読み替えて計算

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	63,000	47,162	74.9	684.22
2018年3月期	67,123	48,248	71.9	699.89

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 47,156百万円 2018年3月期 48,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		18.00		18.00	36.00
2019年3月期		18.00			
2019年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,800	2.7	5,300	0.2	5,400	1.0	3,100	9.0	44.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) のれん償却前当期純利益 2019年3月期通期 4,800百万円 (6.7%) 調整後EPS 2019年3月期通期 69.65円

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Inspiro Relia Nicaragua,S.A.
 (旧SPi Global (Nicaragua)
 Solutions,S.A.), Inspiro Relia 除外 2 社 (社名) 株式会社ボイスネクスト、株式
 US,Inc.(旧CRM US,Inc.), り 会社ヴェイクシア
 らいあデジタル株式会社

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	69,503,040 株	2018年3月期	69,503,040 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	582,172 株	2018年3月期	582,144 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	68,920,877 株	2018年3月期3Q	68,920,896 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は緩やかな拡大を続けました。海外経済は緩やかな拡大が続く一方、米国の通商政策などを背景に先行きの不透明感が強まりました。当社グループが属するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業界では、企業が直面する課題を解決するための堅調なアウトソーシング需要がある一方、労働需給の逼迫の影響が強まりました。

こうした中、当第3四半期連結累計期間においては、アルバイトを含めた従業員に対し「長期障害所得補償制度」を導入したほか、札幌市に「札幌創世スクエアセンター」、大阪市に「大阪トレードピアセンター」を開設するなど、堅調な需要に応えるべくグループのサービス提供能力の拡大を図りました。また、株式会社ボイスネクスト及び株式会社ヴィクシアの株式を譲渡し、事業ポートフォリオの見直しを実行しました。さらに、「事業戦略2020」で掲げるデジタルシフトを推進するため、りらいあデジタル株式会社を設立しました。

売上面では、前年同期にあった官公庁向けスポット業務終了や衆議院選挙の実施に伴う世論調査業務剥落の影響があったものの、継続業務では公益、金融向けを中心に昨年度から続くアウトソーシング需要を取り込み、底堅く推移しました。また、海外連結子会社は昨年度に立ち上げた米国第2センターでの業務が拡大しましたが、全体としては緩やかな伸びにとどまりました。利益面では、国内における既存業務の生産性改善が進む一方、前年同期にあったスポット業務終了や海外連結子会社における業務ロケーション変更による採算性の低下などの影響を受けました。また、株式会社ボイスネクストの譲渡及び投資有価証券の評価損に伴う特別損失を計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高85,038百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益3,376百万円(同1.5%減)、経常利益3,445百万円(同1.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,904百万円(同17.4%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間ののれん償却前営業利益(営業利益+のれん償却費)は、4,645百万円(同1.8%減)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却費)は、3,174百万円(同12.0%減)となりました。

なお、当社はInspiro Relia, Inc. (旧SPi CRM, Inc.)等の買収に伴うのれん償却費用の影響等を鑑み、のれん償却前営業利益、のれん償却前純利益を経営指標として採用しております。

セグメント別の業績は以下の通りです。

コンタクトセンター事業

公益向け業務が大きく伸ばしたほか、情報、流通向けなどで業務が開始、拡大しました。また、海外連結子会社では米国第2センターでの業務が拡大しました。以上の結果、当事業の売上高は68,777百万円(同5.7%増)となりました。

バックオフィス事業

前年にあった官公庁向けスポット業務が終了した影響がありましたが、金融向けを中心に継続業務が拡大したことで、当事業の売上高は11,648百万円(同4.7%増)となりました。

フィールドオペレーション事業

事業の体質改善を目的に選別受注を進めるなどした結果、当事業の売上高は4,612百万円(同3.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、63,000百万円となり、前連結会計年度末比4,122百万円の減少となりました。主な増加は、仕掛品426百万円、有形固定資産937百万円であり、主な減少は、現金及び預金3,178百万円、受取手形及び売掛金822百万円、のれん1,368百万円、投資その他の資産1,275百万円です。

負債は、15,837百万円となり、前連結会計年度末比3,037百万円の減少となりました。主な増加は、未払金367百万円であり、主な減少は、買掛金537百万円、短期借入金1,529百万円、未払法人税等1,297百万円、賞与引当金347百万円です。

純資産は、47,162百万円となり、前連結会計年度末比1,085百万円の減少となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,904百万円であり、主な減少は、剰余金の配当金による支払2,481百万円、為替換算調整勘定156百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.9%から74.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月6日に「2019年3月期 第2四半期決算短信」並びに「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしました業績予想に変更はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1 四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたInspiro Relia Nicaragua, S.A. (旧SPi Global (Nicaragua) Solutions, S.A.) 及びInspiro Relia US, Inc. (旧CRM US, Inc.) は、重要性が増したことにより連結子会社として連結の範囲に含めております。また、連結子会社でありました株式会社ボイスネクストは、保有株式売却に伴い連結の範囲から除外しております。

第2 四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社ヴィクシアは、保有株式売却に伴い連結の範囲から除外しております。

第3 四半期連結会計期間より、新たに設立したりらいあデジタル株式会社を連結子会社として連結の範囲に含めております。

この結果、2018年12月31日現在で、当社グループの連結子会社は10社、持分法適用関連会社は2社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1 四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,270	13,091
受取手形及び売掛金	17,867	17,045
仕掛品	1,260	1,686
貯蔵品	32	21
その他	1,657	2,627
貸倒引当金	△22	△34
流動資産合計	37,066	34,438
固定資産		
有形固定資産	3,787	4,724
無形固定資産		
のれん	15,345	13,976
その他	600	812
無形固定資産合計	15,946	14,788
投資その他の資産	10,323	9,048
固定資産合計	30,056	28,561
資産合計	67,123	63,000
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,345	2,808
短期借入金	2,530	1,000
未払金	7,390	7,757
未払法人税等	1,519	222
賞与引当金	839	492
役員賞与引当金	34	31
その他	1,907	1,965
流動負債合計	17,567	14,277
固定負債		
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	309	411
資産除去債務	968	1,096
その他	9	31
固定負債合計	1,307	1,559
負債合計	18,874	15,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998	998
資本剰余金	1,112	1,112
利益剰余金	44,528	43,685
自己株式	△592	△592
株主資本合計	46,046	45,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	14
繰延ヘッジ損益	111	21
為替換算調整勘定	2,226	2,070
退職給付に係る調整累計額	△176	△153
その他の包括利益累計額合計	2,190	1,952
非支配株主持分	11	5
純資産合計	48,248	47,162
負債純資産合計	67,123	63,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	80,994	85,038
売上原価	69,396	73,016
売上総利益	11,597	12,021
販売費及び一般管理費	8,169	8,645
営業利益	3,428	3,376
営業外収益		
受取利息	25	13
受取配当金	14	3
受取手数料	15	15
受取補償金	—	38
持分法による投資利益	—	17
その他	41	32
営業外収益合計	95	121
営業外費用		
持分法による投資損失	25	—
為替差損	11	41
その他	8	10
営業外費用合計	45	52
経常利益	3,479	3,445
特別利益		
投資有価証券売却益	390	9
その他	27	0
特別利益合計	418	9
特別損失		
固定資産売却損	6	0
関係会社株式売却損	—	89
投資有価証券評価損	—	344
その他	—	30
特別損失合計	6	465
税金等調整前四半期純利益	3,890	2,990
法人税、住民税及び事業税	1,248	944
法人税等調整額	336	145
法人税等合計	1,585	1,090
四半期純利益	2,305	1,899
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,305	1,904

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,305	1,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	△14
繰延ヘッジ損益	51	△89
為替換算調整勘定	△800	△155
退職給付に係る調整額	27	22
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	△814	△237
四半期包括利益	1,491	1,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,491	1,667
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,071	11,126	4,796	80,994	—	80,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	24	58	85	△85	—
計	65,074	11,150	4,854	81,079	△85	80,994
セグメント利益	2,280	1,012	138	3,431	△2	3,428

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,777	11,648	4,612	85,038	—	85,038
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	14	32	52	△52	—
計	68,782	11,663	4,644	85,090	△52	85,038
セグメント利益又は損失(△)	2,479	905	△8	3,376	△0	3,376

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。